

5.2 メガロベントス生息環境について

メガロベントス調査の結果から、多摩川河口干潟には多様な生活スタイルを持ったたくさんのメガロベントスが生息していることがわかりました。また、これらの生物が生息する多様な環境が存在し、それぞれの種が異なる環境に生息していることもわかりました。

この干潟の環境とメガロベントスの生息状況との関係をもう少し詳しくみてみると、今回調査を実施した範囲は、1.堤防際に広大なヨシ原の広がる上流側、2.堤防際にヨシ原がない中央部、3. 堤防際に広大なヨシ原の広がる下流側の3つのエリアに分けることができます。調査の年次と回数はエリアにより若干異なりますが、各エリアにおけるメガロベントスの確認状況は表 - 5.1 に示すとおりです。

確認種の中には3つのエリアのうち特定のエリアでのみ確認されたもの（表中ピンクセル）があります。下流側のエリアでのみ確認された種類のうち、イソギンチャク目、ヒラムシ目、アラムシロガイ、ムラサキイガイ、マテガイ、オキシジミ、オサガニなどは比較的高塩分の環境を好む種類であり、これらは多摩川河口干潟の中でも下流側の高塩分環境を反映した出現と考えられます（表中青枠セル）。逆に、上流側のエリアでのみ確認された種類のうち、ベンケイガニなどは比較的低塩分の環境を好む種類であり、多摩川河口干潟の中でも上流側の低塩分環境を反映した出現と考えられます（表中水色枠セル）。また、確認種の中には3つのエリアのうちヨシ原のある上流側と下流側のエリアに共通して確認されたもの（表中黄緑色セル）があります。このうち、カワザンショウガイ属、クロベンケイガニ、アシハラガニ、カクベンケイガニ、トビハゼなどはヨシ原に依存した生活を行う種類であり、これらはヨシ原の存在を反映した出現と考えられます（表中緑枠セル）。さらに、チゴガニ、コメツキガニなどは直接ヨシ原に依存した生活を行う種類ではありませんが、地盤高の高い環境を生活場所とする種類であり、これらはヨシ原の周りに形成される高地盤部の存在を反映した出現と考えられます（表中茶色枠セル）。

このように、メガロベントスの生息するエリアはそれぞれの種類で異なっており、それは塩分濃度、植生、地盤高、さらには底質の材料などによって決まっているものと考えられます。多摩川河口干潟においてたくさんの種類のメガロベントスが確認されたということは、それだけ多様性の高い環境が存在することを意味しており、多摩川河口干潟がメガロベントスの生息に適した良好な場所になっていることがうかがえます。

表-5.1 メガロベントスのエリア別出現状況

No.	門	綱	目	科	種		上流側エリア (ヨシ原あり)	中央部エリア (ヨシ原なし)	下流側エリア (ヨシ原あり)		
					学名	和名					
1	刺胞動物	花虫	イソギンチャク		ACTINIARIA	イソギンチャク目			○		
2	扁形動物	ウスムシ	ヒラムシ		POLYCLADIDA	ヒラムシ目			○		
3	軟体動物	マキガイ	ニナ	カワサ ^ン ショウガイ	<i>Angustassiminea castanea</i>	クリイロカワサ ^ン ショウガイ	○				
4					<i>Assiminea</i> sp.	カワサ ^ン ショウガイ属	○		○		
5			ハ ^イ	ムシロガイ	<i>Hinia festiva</i>	アラムシロガイ				○	
6			ニマイガイ	イガイ	イガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	ヨウロエンカワサ ^ン ショウガイ	○	○	○	
7						<i>Musculista senhousia</i>	ホトキ ^ス ガイ		○	○	
8						<i>Mytilus galloprovincialis</i>	ムササキイガイ			○	
9						ウケ ^イ スガイ	イタホ ^カ キ	<i>Crassostrea gigas</i>	マ ^カ キ	○	
10			ハマグリ	ハマガリ	ニッコウガイ	<i>Mactra quadrangularis</i>	シオフキガイ		○	○	
11						<i>Macoma contabulata</i>	サヒ ^シ トラリガイ		○		
12						<i>Solen strictus</i>	マテガイ			○	
13						シジ ^ミ	<i>Corbicula japonica</i>	ヤマトシジ ^ミ	○	○	○
14						マルスタ ^レ ガイ	<i>Cyclina sinensis</i>	オキシ ^シ ミ			○
15						<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	○	○	○	
16				ウミタケ ^イ モト ^キ	オキナガイ	<i>Laternula marilina</i>	ソトオリガイ	○	○	○	
17			環形動物	ゴ ^{カイ}	サシバ ^コ カイ	ゴ ^{カイ}	<i>Neanthes japonica</i>	○	○	○	
18	節足動物	甲殻	フジ ^{ツボ}	フジ ^{ツボ}	<i>Balanus albicostatus</i>	シロス ^フ フジ ^{ツボ}	○	○	○		
19					<i>Balanus amphitrite</i>	タテ ^シ マフジ ^{ツボ}	○	○	○		
20					<i>Balanus eburneus</i>	アメリカ ^フ フジ ^{ツボ}	○	○	○		
21					<i>Balanus improvisus</i>	ヨーロッパ ^フ フジ ^{ツボ}	○	○	○		
22					<i>Balanus kondakovi</i>	ト ^ロ フジ ^{ツボ}	○	○	○		
23					ワラシ ^{ムシ}	フナムシ	<i>Ligia exotica</i>	フナムシ			○
24			コツ ^フ ムシ	<i>Gnорimosphaeroma</i> sp.	イソコツ ^フ ムシ属		○	○			
25			ヨコエ ^ビ	メリタヨコエ ^ビ	<i>Melita</i> sp.	メリタヨコエ ^ビ 属		○	○		
26			エビ	テナカ ^{エビ}	テナカ ^{エビ}	<i>Palaemon macrodactylus</i>	ユビ ^{ナカ} ス ^シ エビ		○	○	
27						<i>Palaemon</i> sp.	スジ ^{エビ} 属			○	
28			テッポ ^ウ エビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>	テッポ ^ウ エビ		○	○			
29			<i>Alpheus</i> sp.	テッポ ^ウ エビ ^属		○					
30			ハサ ^ミ シヤコエ ^ビ	<i>Laomedia astacina</i>	ハサ ^ミ シヤコエ ^ビ	○	○				
31	アナジ ^{ヤコ}	<i>Upogebia major</i>	アナジ ^{ヤコ}		○	○					
32	ホンヤト ^{カリ}	<i>Pagurus dubius</i>	ユビ ^{ナカ} ホンヤト ^{カリ}	○	○	○					
33	スナガ ^ニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	チコ ^ガ ニ	○		○					
34		<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>	オサガ ^ニ			○					
35		<i>Macrophthalmus japonicus</i>	ヤマトオサガ ^ニ	○	○	○					
36		<i>Scopimera globosa</i>	コマツキガ ^ニ	○		○					
37	イワガ ^ニ	イワガ ^ニ	<i>Chiromantes dehaani</i>	クロベ ^ン ケイガ ^ニ	○		○				
38			<i>Chiromantes haematocheir</i>	アカテガ ^ニ			○				
39			<i>Clistoconcha merguiese</i>	ウモレバ ^ン ケイガ ^ニ	○		○				
40			<i>Helice tridens</i>	アシハラガ ^ニ	○		○				
41			<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	ケフサイガ ^ニ	○	○	○				
42			<i>Parasesarma pictum</i>	カケベ ^ン ケイガ ^ニ	○		○				
43		<i>Sesarmops intermedium</i>	ベ ^ン ケイガ ^ニ	○		○					
44		コブ ^シ ガ ^ニ	<i>Philyra pisum</i>	マメコブ ^シ ガ ^ニ		○	○				
45	脊椎動物	硬骨魚	スス ^キ	ハセ ^ノ	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチ ^ア		○			
46					<i>Gymnogobius castaneus</i>	ヒ ^リ ンコ			○		
47					<i>Gymnogobius macrognathos</i>	エト ^ハ セ			○		
48					<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハセ ^ノ		○	○		
49					<i>Eutaeniichthys gilli</i>	ヒモハセ ^ノ		○	○		
50					<i>Periophthalmus cantonensis</i>	トヒ ^ハ セ	○		○		
51						GOBIIDAE	ハセ ^ノ 科	○		○	
種類数							27	27	40		



<凡 例>

- : 出現
- (pink) : 3つのエリアのうち特定の1エリアのみの出現
- (green) : ヨシ原のあるエリアに共通した出現
- (blue border) : 高塩分環境を反映していると考えられる出現
- (cyan border) : 低塩分環境を反映していると考えられる出現
- (green border) : ヨシ原の存在を反映していると考えられる出現
- (red border) : 高地盤部の存在を反映していると考えられる出現